

選ばれる施設を目指して！ケアの向上の取組
 業務主体のサービスから個別ケアへの取組で見えてきたもの

情報の抽出
職員の意識の変化
生活の向上

キーワードについては必ず3つ記入の事！！

地域密着型特別養護老人ホーム 恵望園 はなえにわ

発表者 (研究者)	ケアリーダー・介護福祉士 大山 茉希 介護福祉士 吉田 圭
--------------	----------------------------------

施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人 恵望会	経営主体	社会福祉法人 恵望会
開設年月日	平成24年3月31日	所在市町村	恵庭市
市町村人口	68800 人	65歳以上人口 (高齢化率)	16900 人 (高齢化率 24.6 %)
利用者定員数	29 人	利用者平均年齢	86.8 歳
職員数	22 人	職員数内訳	介護職 18 名 看護職 2 名
併設施設・事業	特別養護老人ホーム 短期入所生活介護 通所介護 居宅介護支援 地域包括支援センター		
施設のサービスの概要	平成24年3月開設。個室10床、多床室19床、計29床の地域密着型特別養護老人ホームです。		

発表の概要

<p>①取り組んだ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の建て替えを皮切りに、従来提供されていた一律のサービスから、個別に情報を抽出してサービスを提供する事により、快適な暮らしをサポートする事で、地域の方から選ばれる施設を目指す！ ・快適な暮らしのサポートには、様々な手法や角度から情報を抽出し、日常のケアに活用することで、ご入居者様の生活の向上に連動、ご家族様等の安心感が高まるサービスを提供する <p>②具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、入浴の担当職員を定めた事でより専門的に検証し、ケア会議等で協議し、職員へ情報の共有を図る ・担当者会議、ケア会議に可能な限りケアワーカーが参加し、ご家族様を含め、生活歴や改善の糸口になる情報を共有する機会を設ける ・福祉用具メーカーの担当の方からの情報や、研修を設ける事で、情報の刷新や、思い込みを払拭し最適な使用方法で提供する 	<p>③活動の成果と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当を分掌した事で、職員に求められることが明確となり、専門職等との折衝もコンパクトに行えるようになった ・会議に参加する機会が増加した事で、書面から得る情報だけではなく直接聞く事で、情報の理解度が増しサービスに連動できた ・職員の意識や、やる気が向上し、日常的に情報交換する機会が増えた <p>④今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアの向上の取組は特別なことではなく、今後も継続が求められる ・多様化するニーズに対応する知識や技術の習得 ・地域との関係をより深め、身近なものに感じていただける取組を推進する <p>⑤参考資料など</p>
--	--